

福山美術協会
第 70 回展
記念作品集





ご挨拶

福山美術協会理事長

藤田 伸一

洋画集団「ぶらんだるじゃん」は、大正14年2月第一回美術展を開催し、第12回美術展をもって発展的解消をおこないました。

戦後目覚ましい洋画の躍進に大きな役割を担って、昭和23年秋、新しい福山美術協会が誕生し、以来、本会は、60周年記念画集・第65回記念作品集を作ってきました。このたび、第70回福山美術協会会員展「記念作品集」を発刊する運びとなりました。

会員は、日頃から絵画を通して新しい感覚・想像力の追求、表現の自由、豊かな創造性を育む努力を続けてまいりました。これからも地域芸術文化の向上発展に励んでまいります。

福山美術協会記念作品集発刊にご支援ご協力をいただいた関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。



祝 辞

福山市長
枝 広 直 幹

福山美術協会の会員展が第70回の節目を迎えられ、『第70回展記念作品集』を発刊されますこと、心からお喜び申し上げます。

福山美術協会におかれましては、1948年（昭和23年）の発足以来、美術の研究や指導をはじめ、毎年開催している福山文化連盟総合文化祭の協賛の事業である会員展、50回に及ぶ公募展の開催など、市民と密着した地道な活動を展開され、本市の芸術・文化の発展に多大な御貢献をいただいておりますことに、深く敬意を表します。

時代は今、豊かな感性を育むため、芸術・文化の重要性が高まっています。優れた美術作品は、接した人の心を豊かにし、活力を生み出す力を与えてくれます。ここに掲載される作品は、いずれもすばらしい作品であり、作品集としてまとめられることは大変意義深いものであると思います。

本市といたしましても、こうした芸術・文化の振興による豊かなまちづくりの実現に向け、取り組んでまいりますので、今後とも変わらぬ御力添えを賜りますようお願い申し上げます。

終わりにになりましたが、第70回の節目を契機として、福山美術協会のますますの御発展と、会員の皆様の御健勝と御活躍を祈念し、お祝いの言葉といたします。



福山美術協会設立 70 周年を祝う

ふくやま美術館館長
原 田 一 敏

福山美術協会が創立され70年を迎えることとなり、心よりお祝いを申し上げます。終戦後の復興が始まってまだ生活に余裕がそれほどなかった時期に、美術を愛好する人々が集まって団体を設立することは大変なご苦労があったことと推察いたします。しかもそれが、今日まで長く継続してきたことには大きな困難もあったことと存じます。その70回目の展覧会を記念して、「第70回展記念作品集」が刊行されることは、これまで歩まれてきた会の歴史と今を知る貴重な記念集になることと確信しております。

私がふくやま美術館の館長に就任して3年目をむかえましたが、この2年の「福山美術協会会員展」を拝見して、常に100点を超える多彩なジャンルの作品が出品され、それを多くの方々が鑑賞する姿を拝見して、地域に根差した美術展であることが、すぐにわかりました。私自身、工芸史を専門としておりますので、これまで各地の県展や市民展などの審査を行ったこともあり、今も機会があれば展覧会は多く見て参りました。ふくやま美術館が設立された時の理念に、「見る」、「つくる」ということがありますが、美術館と作家、そして美術を愛好する市民との関係が近いのも、美術館としても理想の姿であるといえます。美術協会の会員の方々にこれまで続けてこられた熱意とご協力に対して敬意と感謝をしている次第です。

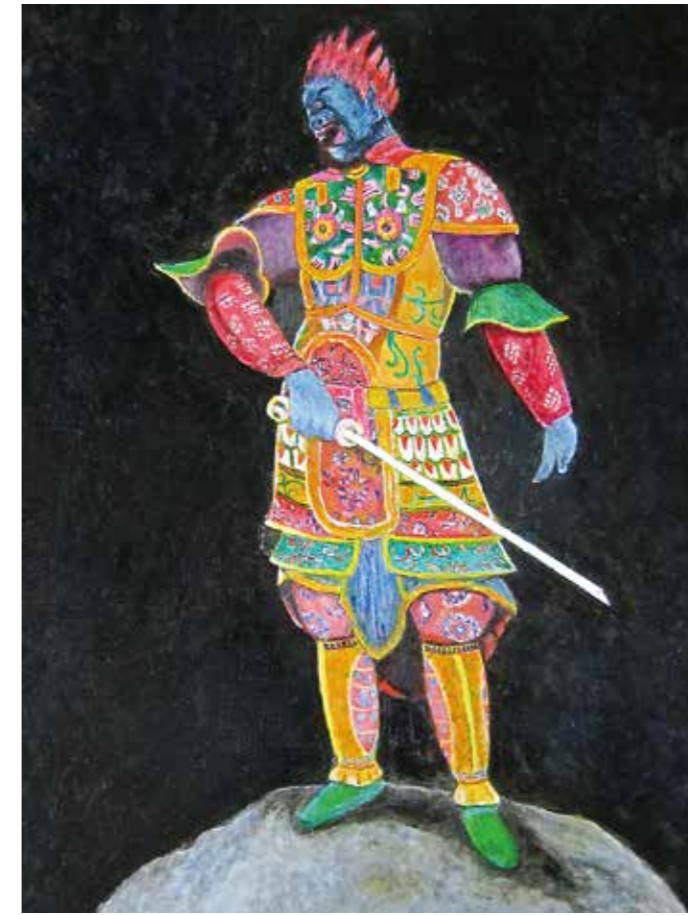
美術は、人の心を豊かにし、幼少からこれに触れることは感性をみがき、生活の場においても安らぎをあたえてくれます。これからも、力を合わせて福山美術協会を盛り立て、美のある暮らしを創造していただきたいと思います。80回、90回、そして100回と続けられることを祈念し、また会員皆様のご健康とご活躍を願っております。

出品目録

1	尼子三世子	一面のマーガレット	8	31	佐々木利春	忙中閑あり	23	61	橋本 玲子	尖塔の街プラハ	38
2	在川 法子	花	8	32	佐長 宗明	木造漁船	23	62	長谷川雅敏	アビニョン	38
3	安部 洋子	パンチャー	9	33	佐藤 文男	北の大地 (美瑛)	24	63	花岡 寿一	王女と兵士	39
4	池本 邦彦(故)	ひまわり	9	34	真安 幸光	ロータリーボート	24	64	浜本 千尋	無題	39
5	石岡 洋三	大地の実り	10	35	佐野 順一	緑のカーディガン	25	65	平井 章三	生	40
6	石本 壽枝	ミコノス島	10	36	篠原 慎二	Jump	25	66	広田 和典	東尋坊	40
7	伊藤 寛治	風薫る	11	37	島田久美子	川辺の城壁	26	67	吹抜 伸洋	妖怪蜘蛛	41
8	猪原 敏行	クラシックギター奏者	11	38	塩飽 一昭	板門店D、M、Z	26	68	藤井 敦子	祈り	41
9	岩瀬 晶子	トルソ	12	39	角 隆志	伐折羅大将像(十二神将)	27	69	藤井 正孝	造船所の朝	42
10	植村 亮司	静港	12	40	陶山 悦恵	作業小屋	27	70	藤井 道義	大工道具	42
11	卜部 俊孝	希望	13	41	園尾 秀美	春	28	71	藤田 伸一	作品=019・8A	43
12	岡本 光郎	山里の春	13	42	平 明子	老樹	28	72	船石 守郎	青の香り	43
13	尾熊 厚子	縄文の仲間	14	43	高橋 守	朝の港	29	73	古川 一雄	風の道(陸奥)	44
14	小田 正彦	雪の朝	14	44	舘上 恵子	煙突のある風景	29	74	前田 彰	来島海峡	44
15	かとうゆみこ	アンモナイトの夢	15	45	舘原智恵美	朝市	30	75	馬越 佑子	ウォーターフロント・驟雨	45
16	河本 誠二	埴輪戦士	15	46	田中 佑二	晩秋の山麓	30	76	光成 和昌	春の溪流	45
17	来山 倫子	光射すドームの一隅	16	47	田和 克章	ふる里Ⅱ	31	77	光成 元秀	蓮	46
18	木村 照恵	娘	16	48	檀上 浩二	勾玉の仲間たち	31	78	三好 文子	杏の花の咲くころ(田尻)	46
19	吉柳 洋子	福山城石垣	17	49	寺岡 玲子	漁港	32	79	村上 幸子	木立ち	47
20	久保 節子	ヴェネチア	17	50	徳永 隆	ぼたん	32	80	守本 光一	廃墟	47
21	熊谷 光郎	大山の秋	18	51	豊田 秀子	花ものがたり	33	81	森本 洋子	古城	48
22	藏本 美恵	一日の始まり	18	52	中島美智江	山里	33	82	山口 幸弘	潮風	48
23	桑木 禮三	水源池の桜	19	53	中務 保鞏	管楽器	34	83	吉岡 信夫	帝釈溪谷の秋	49
24	桑原 捷彦	消えたサンピアⅡ	19	54	中西 恵子	オリーブ樹	34	84	和田 正巳	芦田川枯秋	49
25	毛村 洋子	マイガーデン	20	55	中元 香苗	冬枯れ	35	85	和田 貢	ひまわり	50
26	高地 秀明	花の詩	20	56	中山 秀子	バラのある部屋	35				
27	後藤久美子	装う	21	57	並木 貴子	Flowers	36				
28	小林 福恵	天に星・地に花	21	58	西江 幸美	漁港の一隅	36				
29	是清八重子	漁港の一隅	22	59	根岸 繁美	ひまわり	37				
30	坂本 育子	夢のつづき	22	60	野田真須子	漢の衣装のYさん	37				



《川辺の城壁》 島田久美子 油彩 F30



《伐折羅大将像 (十二神将)》
角 隆志 油彩 F20



《板門店D、M、Z》 塩飽一昭 ミクスト M30



《作業小屋》 陶山 悦恵 油彩 F30



北の大地（美瑛） 佐藤文男 油彩 P20



《緑のカーディガン》
佐野順一 色鉛筆 F20



《ロータリーボート》 真安幸光 油彩 F20



《Jump》
篠原慎二 油彩 S30



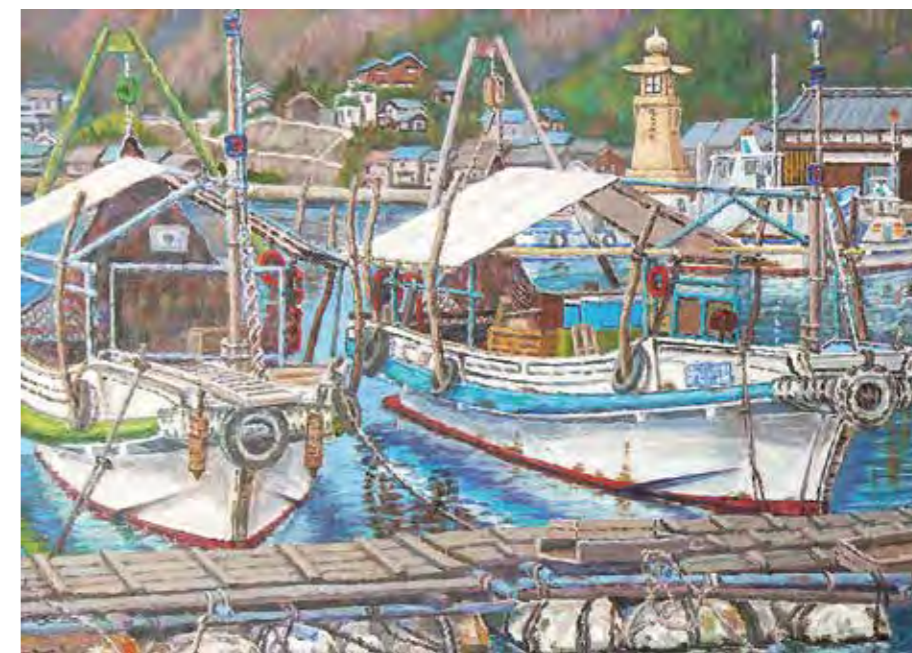
《漁港の一隅》 是清八重子 油彩 P30



《忙中閑あり》 佐々木利春 水彩 F20



《夢のつづき》 坂本育子 油彩 F30



《木造漁船》 佐長宗明 油彩 F30



《マイガーデン》
毛村洋子 水彩 F30



《装う》
後藤久美子 油彩 F30



《花の詩》 高地秀明 アクリル F20



《天に星・地に花》
小林福恵 油彩 F30



《大山の秋》 熊谷光郎 油彩 F20



《水源池の桜》 桑木禮三 水彩 P20



《一日の始まり》
藏本美恵 油彩 S30



《消えたサンピアII》 桑原捷彦 油彩 F30



《光射すドームの一隅》 来山倫子 油彩 F30



《福山城石垣》
吉柳洋子 水彩 F30



《娘》
木村 照恵 油彩 F30



《ヴェネチア》 久保節子 油彩 F30



《縄文の仲間》 尾熊厚子 油彩 F30



《アンモナイトの夢》
かとうゆみこ エッチング・アクアチント (60×60)



《雪の朝》 小田正彦 油彩 F30



《埴輪戦士》
河本誠二 油彩 F30



《トルソ》
岩瀬晶子 油彩 F30



《希望》
卜部俊孝 油彩 F30



《静港》
植村亮司 油彩 F30



《山里の春》
岡本光郎 油彩 F30



《大地の実り》
石岡洋三 油彩 S30



《風薫る》
伊藤 寛治 油彩 F30



《ミコノス島》
石本壽枝 油彩 F30



《クラシックギター奏者》
猪原敏行 水彩 F20



《一面のマーガレット》 尼子三世子 油彩 F30



《パンチャー》
安部洋子 油彩・アクリル P20



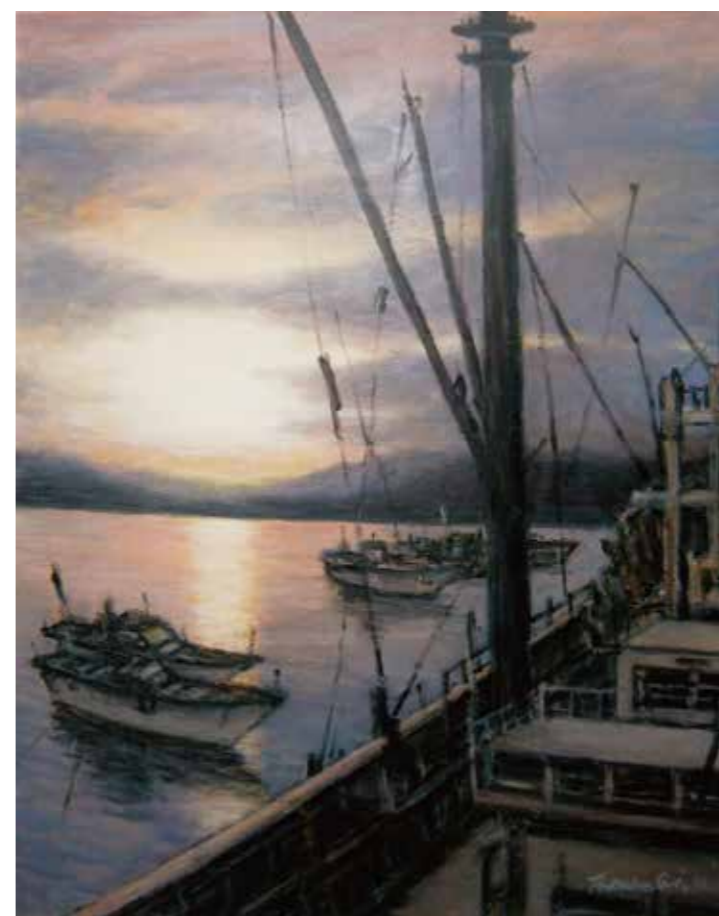
《花》 在川法子 アクリル F30



《ひまわり》
池本邦彦（故） 油彩 F30



《春》 園尾秀美 油彩 F30



《朝の港》
高橋 守 油彩 F30



《老樹》
平 明子 油彩 S30



《煙突のある風景》
館上 恵子 油彩 F30



《朝市》 舘原智恵美 油彩 F30



《ふる里Ⅱ》 田和克章 油彩 F30



《晩秋の山麓》 田中佑二 水彩 F30



《勾玉の仲間たち》
檀上浩二 油彩 S30



《古城》
森本洋子 油彩 F30



《帝釈溪谷の秋》
吉岡信夫 油彩 F30



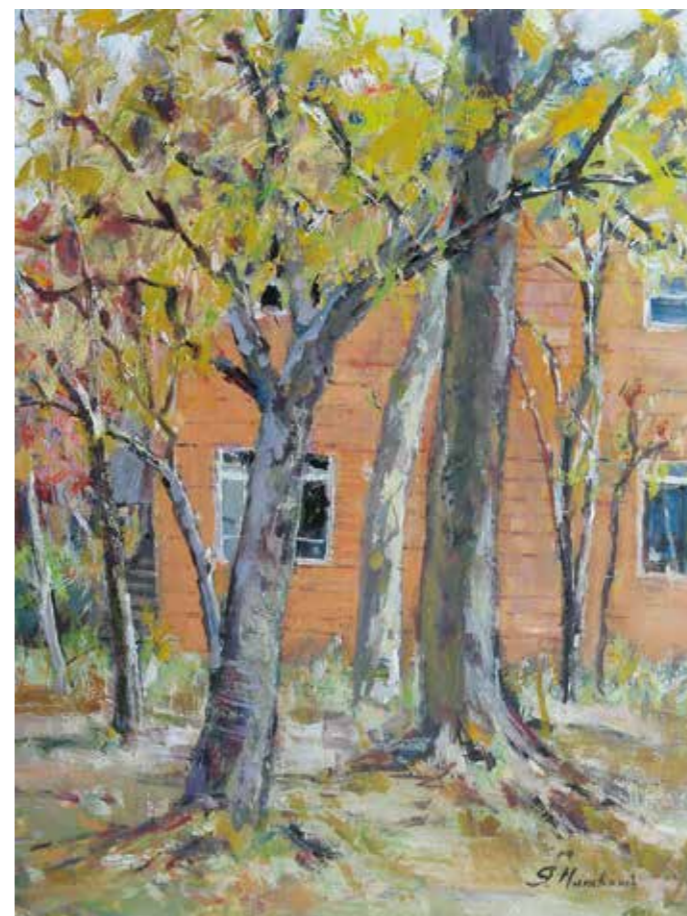
《潮風》 山口幸弘 水彩 F30



《芦田川枯秋》 和田正巳 油彩 P30



《蓮》 光成元秀 油彩 F30



《木立ち》
村上幸子 油彩 F30



《杏の花の咲くころ (田尻)》 三好文子 油彩 F30



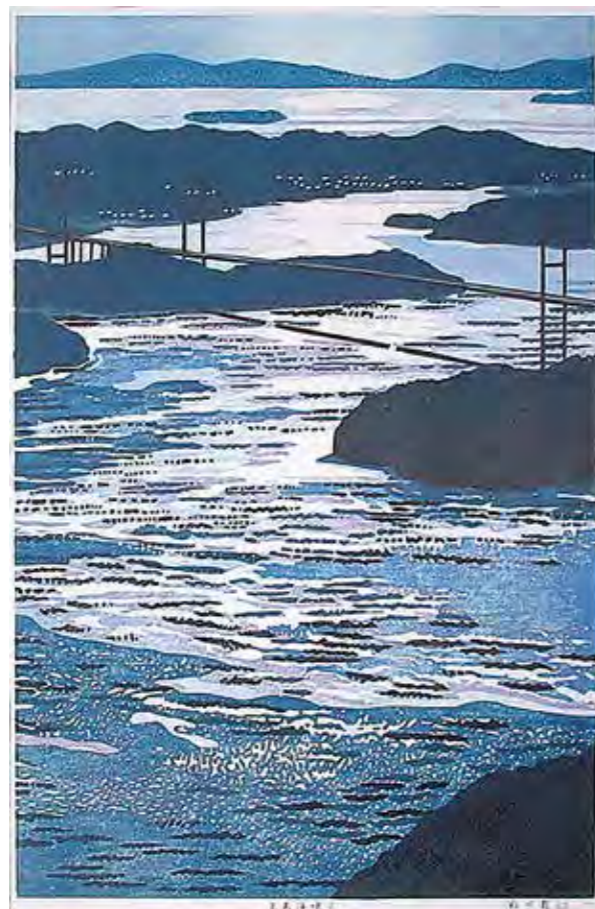
《廃墟》
守本光一 油彩 S30



《風の道（陸奥）》 古川一雄 油彩 F30



《ウォーターフロント・驟雨》
馬越佑子 アクリル F30



《来島海峡 2》
前田 彰 木版画 84×60



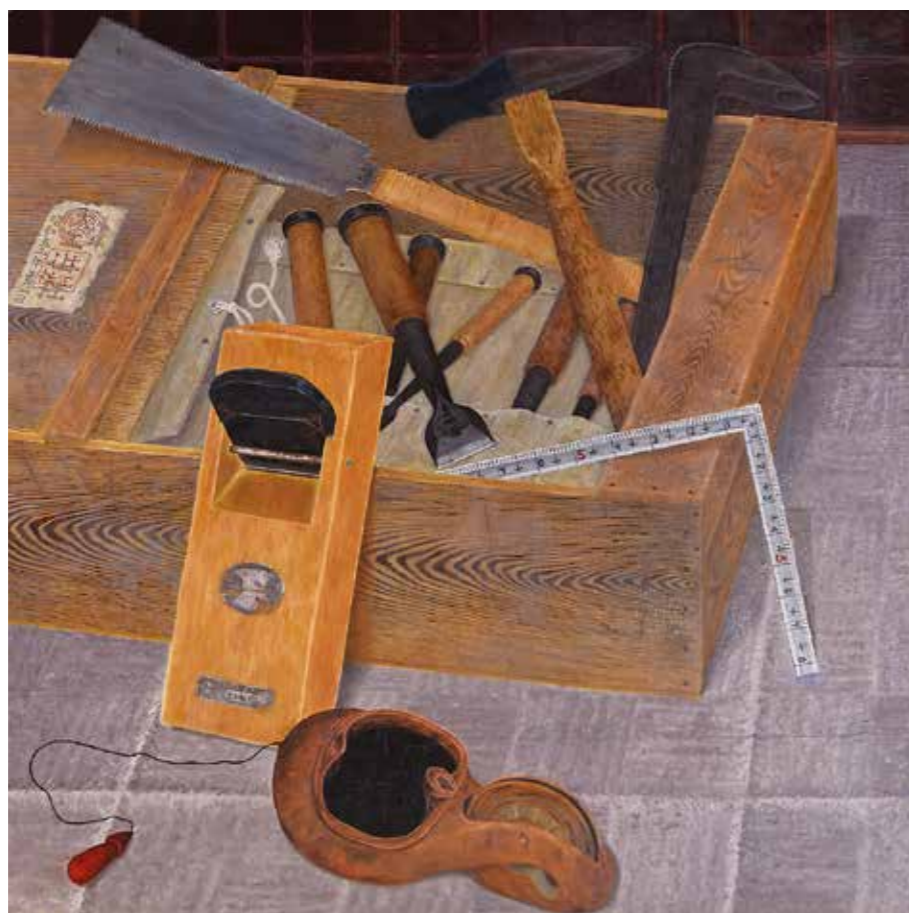
《春の溪流》 光成和昌 油彩 F30



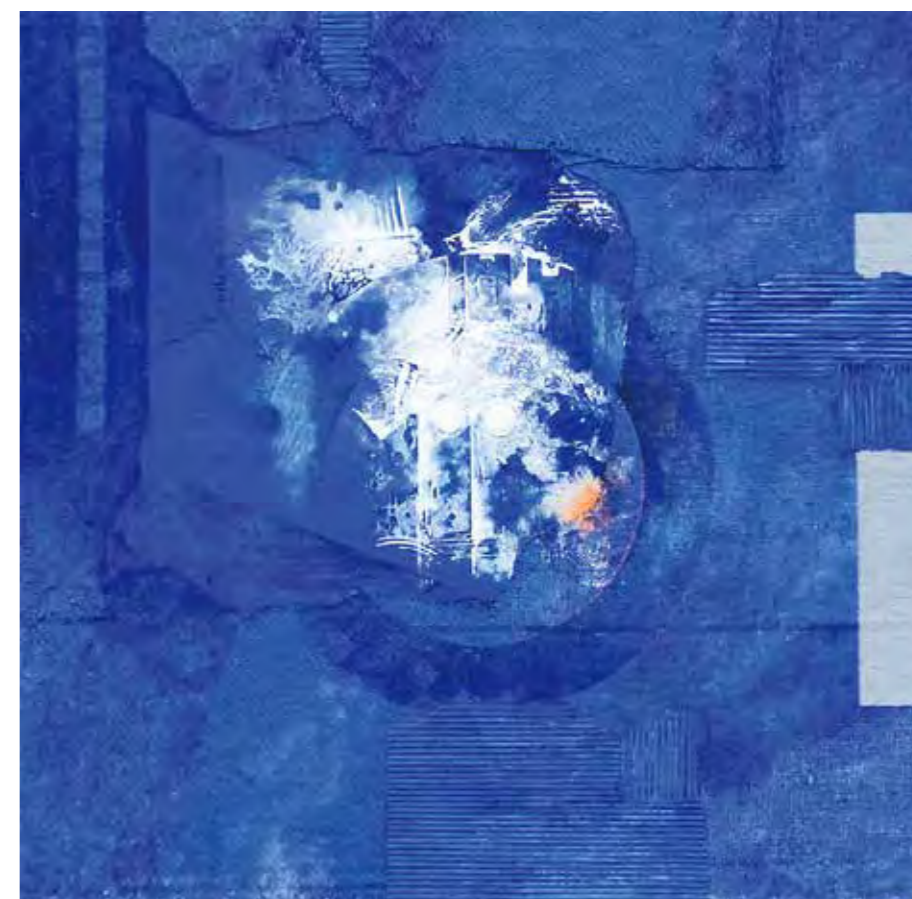
《造船所の朝》 藤井正孝 油彩 F30



《作品=019・8A》 藤田伸一 油彩 P30



《大工道具》
藤井道義 油彩 S30



《青の香り》
船石守郎 アクリル S30



《生》 平井章三 油彩 F30



《妖怪蜘蛛》
吹抜伸洋 油彩 F20



《東尋坊》
広田和典 油彩 S30



《祈り》 藤井敦子 油彩 P30



《尖塔の街プラハ》
橋本玲子 油彩 F30



《王女と兵士》
花岡寿一 テンペラ F30



《アビニョン》 長谷川雅敏 油彩 F30



《無題》
浜本千尋 アクリル S30



《Flowers》 並木貴子 アクリル F30



《ひまわり》
根岸 繁美 油彩 F30



《漁港の一隅》
西江幸美 油彩 S30



《漢の衣装のYさん》
野田真須子 油彩 P30



《管楽器》
中務保鞏 油彩 S30



《冬枯れ》
中元香苗 油彩 F30



《オリーブ樹》
中西恵子 油彩 F30



《バラのある部屋》
中山秀子 油彩 F20



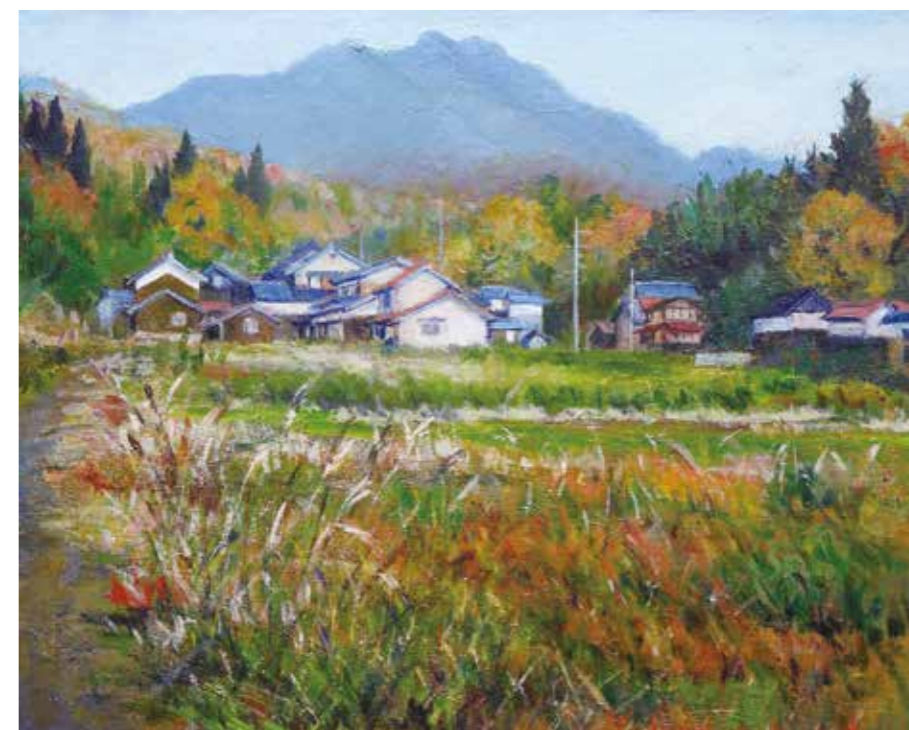
《漁港》 寺岡 玲子 油彩 F30



《花ものがたり》
豊田秀子 油彩 F20



《ぼたん》
徳永 隆 油彩 P20



《山里》 中島美智江 油彩 F30



《ひまわり》 和田 貢 油彩 F10

福山美術協会役員名簿

理事

顧問	和田 正巳			
理事長	藤田 伸一			
常任理事	卜部 俊孝	光成 元秀	林 光子	
	平井 章三	松岡富士則	古川 一雄	
	在川 法子	佐藤 文男	村上 幸子	
事務局長	植村 亮司			
事務局次長	高地 秀明	真安 幸光		
事務局員	檀上 浩二	塩飽 一昭		
会計	館上 恵子	平 明子		
理事	石岡 洋三	岩瀬 晶子	内海 洋江	
	岡田 一	三好 文子	桑原 捷彦	
	小林 福恵	坂本 育子	田辺 康二	
	鈴木 辰夫	舩石 守郎	長谷川雅敏	
	花岡 寿一	浜本 千尋	広田 和典	
	馬越 佑子	来山 倫子	篠原 慎二	
	中元 香苗	掛谷 公子	木村 照恵	
	猪原 敏行	熊谷 光郎	森本 洋子	
	安部 洋子	尾熊 厚子	吹抜 伸洋	
	光成 和昌			

研究部

(部長)	浜本 千尋	(副部長)	塩飽 一昭	安部 洋子
	尾熊 厚子		掛谷 公子	かとうゆみこ
	木村 照恵		熊谷 光郎	佐長 宗明
	角 隆志		後藤久美子	野田真須子
	佐々木利春		田和 克章	是清八重子
	久保 節子		佐野 順一	島田久美子
	藤井 正孝		根岸 繁美	山口 幸弘
	並木 貴子			

監査 伊藤 寛治 藤井 道義

名誉会員 和田 貢 松崎 隆雄